

2024年度（令和6年度）逗子市地域福祉計画進行管理表

【第4章第2節福祉分野の個別計画施策体系】

所管名： 国保健康課

計画名	逗子市健康増進・食育推進計画
取り組みの方向	2 医療・保健・福祉が連携した安心・健康長寿のまち
具体的施策	①健康づくり・食育の推進

【数値目標：2029年度（令和11年度）】

【現状：2024年度（令和6年度末）】

国民健康保険被保険者の1人当たり医療費の伸び率を、県平均以下に抑制している。



1.44%（県平均2.17%）

【2024年度の取り組み実績】

事業名	健康増進・食育推進計画推進事業	事業費（2024年度実績額）	3,512,808 円
<p><取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> 健康増進・食育推進計画推進事業の展開（健康づくり推進事業の推進） 「未病を改善する半島宣言」の推進 <p><説明></p> <ul style="list-style-type: none"> 健康づくり・食育の推進のため未病センターなど、様々な媒体を活用した情報発信及び健康・栄養相談や健康づくり出前講座などの普及啓発事業を実施する。 健康増進・食育推進計画懇話会を開催し、計画の進行管理及び推進を図る。 「逗子市健康増進・食育推進計画」に基づいて、関係機関等と連携し、健康づくりや食育、疾病予防の啓発事業を行う。 健康寿命の更なる延伸と生活の質の向上をめざし、三浦半島4市1町が、特に保健・福祉分野において積極的に連携を図り、県の未病を改善する取り組みに参画する。 <p><実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 2023年3月に「逗子市健康増進・食育推進計画」を策定。 逗子市健康増進・食育推進計画懇話会を2回開催して進行管理した他、庁内8課の担当者を集めた逗子市健康増進・食育推進計画担当者会議を設置・開催。全庁的に連携して計画を推進する体制を整えた。 未病センター（市役所）では、9時～12時、13時～16時まで看護師や管理栄養士が常駐する体制にした（2024年度 243日開設、4498人利用）。 広報誌やHPの他、LINEなどを活用して健康や食育、疾病予防に係る情報や講座などの情報を発信した。 県の健康支援プログラムや子どもの未病対策応援プログラムを申請し、講座を開催。 <ul style="list-style-type: none"> ①（サンスター株式会社）オーラルケア講座：7/11、21人参加 ②（株式会社ツムラ）ツムラの漢方講座：7/17、27人参加 ③（株式会社サンドラッグ）健康測定・相談会：10/8、38人参加 ④（NPO法人ダンスライフコミュニケーションズ）脳トレリズム体操：10/20、22人参加 ⑤（第一生命保険株式会社）子どもの走り方教室：2/15、56人参加 県のアプリ『マイME-BYOカルテ』を活用した健康ポイント事業を開催（10/10～1/31）297人参加 未病センター利用人数：35,212人（市役所：4,498人（18.5人/日）・アリーナ：30,714人（97.2人/日）） 			

事業名	特定健診・特定保健指導事業	事業費（2024年度実績額）	44,945,619 円
<p><取り組み></p> <p>特定健診・特定保健指導の推進</p> <p><説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ・40歳から74歳までの国民健康保険加入者を対象とした特定健康診査を実施する。 ・健診結果から、必要な者に対し保健指導を行う。 ・データヘルス計画・特定健康診査等実施計画に基づき、健康診査及び保健指導を実施する。 ・若い世代に対して健診・検診の受診啓発を行う。 <p><実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度から特定健診の自己負担額を無料にして実施（2022年度迄は1500円）。 <p>受診率（確定値）：2022年度：32.3%、2023年度：37.1%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導は集団健診会場で初回分割を行っている他、健診結果から対象者へ通知・電話。 <p>未病センターで保健師・管理栄養士が特定保健指導実施。実施率（終了率）（確定値）：28.0%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年3月に「逗子市国民健康保険第3期データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画」を策定。 ・若い世代に対しては「アプリで健康ポイント ゲットキャンペーン！」を主催し、健診受診を条件として若い世代向けのインセンティブを準備して受診を促した。 			

事業名	成人等保健事業	事業費（2024年度実績額）	132,422,593 円
<p><取り組み></p> <p>女性のがん検診の充実（子宮頸がん検診の充実）</p> <p><説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性に対して、集団・個別での検診を実施する。 ・無料クーポン券を発行し、受診を促進する。 <p><実施状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子宮頸がん検診を実施。集団：6回。施設：通年。受診者数：1,995人。要精検者数：29人 ・がん予防講演会（10/30「いまさら聞けない乳がんのこと」）を開催。38人参加。 ・「広報ずし9月号」で巻末記事を掲載した。 ・3歳児健診・就学児健診・成人式で検診受診を勧めるチラシを個別配布した。 			

【懇話会の意見】

取り組みの内容を工夫しながら、目標達成のために事業を進められている。

【自己評価】

健康増進・食育推進を進めるための懇話会を開催し、市民を含めた関係機関からの助言を得ることや、特定健康診査の受診率を上げること、健康に関する正しい情報発信をしている。

【課題の分析と今後のアプローチ】

健康増進・食育推進計画を推進しつつ、健康に関する正しい情報を発信する。また、健診や検診の受診率を上げることによって疾病を早期発見し、重症化を予防することで医療費の適正化を図る。

2024年度（令和6年度）逗子市地域福祉計画進行管理表

【第4章第2節福祉分野の個別計画施策体系】

所管名： 国保健康課

計画名	逗子市健康増進・食育推進計画
取り組みの方向	2 医療・保健・福祉が連携した安心・健康長寿のまち
具体的施策	②感染症予防対策の推進

【数値目標：2029年度（令和11年度）】

予防接種対象者への個別通知の送付率100%を維持している。



【現状：2024年度（令和6年度末）】

100%

【2024年度の取り組み実績】

事業名	成人等保健事業	事業費（2024年度実績額）	132,422,593 円
<p><取り組み></p> <p>感染症予防対策の推進</p> <p><説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症の流行等について、情報の収集及び市民への周知を行い、注意喚起する。 ・ 具体的な予防行動の知識普及を行う。 ・ 予防接種がある感染症については、接種が促進されるよう環境を整える。 <p><実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者肺炎球菌予防接種・高齢者帯状疱疹予防接種対象者への個別通知。個別通知の内容としては予防接種の実施期間・実施医療機関・自己負担額・ワクチンの種類・実施にあたっての注意事項など ・ HPや4月上旬の広報掲示板を活用した市民への周知。 			

【懇話会の意見】

目標に対する評価は妥当と言える。

【自己評価】

高齢者肺炎球菌予防接種・高齢者帯状疱疹予防接種においては、費用の一部助成を受けられるのが生涯に一度であることから、全対象者へ個別通知を100%実施し、予防接種の実施期間・実施医療機関・自己負担額・ワクチンの種類・実施にあたっての注意事項などの周知を徹底できている。また、個別通知だけでなくHPや4月上旬の広報掲示板などで予防接種についての情報の普及啓発を行っている。

【課題の分析と今後のアプローチ】

肺炎（日本人の死因の第5位）は死亡者の95%以上が高齢者であり、帯状疱疹はその発症が日常生活に支障をきたすことがあることから、高齢者への周知をさらに徹底する。特に、高齢者からはワクチンの種類についての問い合わせが多いことから、ワクチンの効果・費用・副反応・注意事項などの周知に努める。

2024年度（令和6年度）逗子市地域福祉計画進行管理表

【第4章第2節福祉分野の個別計画施策体系】

所管名： 国保健康課

計画名	逗子市健康増進・食育推進計画
取り組みの方向	2 医療・保健・福祉が連携した安心・健康長寿のまち
具体的施策	③地域医療体制の推進

【数値目標：2029年度（令和11年度）】

【現状：2024年度（令和6年度末）】

「一番不便または不満に感じる事柄」について、「医療施設が整っていない」と回答する人の割合が20%以下になっている。



29.60%

【2024年度の取り組み実績】

事業名	在宅医療・介護連携推進事業	事業費（2024年度実績額）	23,639,700 円
<p><取り組み></p> <p>在宅医療介護連携の推進</p> <p><説明></p> <p>多職種による医療・介護連携支援体制の強化を図るため、逗葉地域在宅医療・介護連携相談室において在宅医療・介護サービスを提供している関係者からの相談・支援や対象者の支援に必要な、医療・介護等の情報提供、多職種連携会議や研修会などを開催する。</p> <p><実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談事業計117名（延419件） ・逗葉地域在宅医療・介護連携相談室多職種連携会議（2回） ・逗葉地域在宅医療・介護連携相談室多職種連携研修会（2回・参加者計145人） ・医療・介護・福祉職員向け研修（井戸端サロン）（6回・参加者計153人） 			

事業名	地域医療充実事業	事業費（2024年度実績額）	159,386 円
<p><取り組み></p> <p>地域医療の充実（総合的病院誘致の推進）</p> <p><説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師会・歯科医師会・薬剤師会・葉山町等で構成する、逗子・葉山地区医療保健福祉対策協議会で地域医療の充実に向けて連携強化等の検討を行う。 ・総合的病院の誘致を含めた今後の逗子の地域医療体制の充実に向けた検討を行う。 ・近隣病院の地域外部委員会等に参加するなど意思疎通を図り、市に必要な連携を要望する。 <p><実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・逗子葉山地区医療保健福祉対策協議会（1回）、小委員会（3回）、災害時医療研修会および実地訓練（1回） ・逗子の地域医療検討会（2回）、「逗子の地域医療検討会 最終とりまとめ」を市長に提出 			

【懇話会の意見】

市民が安心して医療を受けられる体制づくりのために、現状の分析や課題を明確化し、継続して検討していくことを望む。

【自己評価】

- ・ 逗子葉山地区医療保健福祉対策協議会において地域医療の充実に向けて検討を行う。
- ・ 2023年度から2024年度にかけて、「逗子の地域医療検討会」において病院も含めた逗子に必要な地域医療について検討を行い、最終とりまとめを市長に提出した。

【課題の分析と今後のアプローチ】

逗子葉山地区医療保健福祉対策協議会での検討を継続する。

2024年度（令和6年度）逗子市地域福祉計画進行管理表

【第4章第2節福祉分野の個別計画施策体系】

所管名： 国保健康課

計画名	逗子市健康増進・食育推進計画
取り組みの方向	2 医療・保健・福祉が連携した安心・健康長寿のまち
具体的施策	④地域自殺対策の推進

【数値目標：2029年度（令和11年度）】

自殺者数が0人になっている。

【現状：2024年度（令和6年度末）】

8人（プロフィール・自殺日・住居地より）総合計画に合わせ、年度ではなく年（2024年1月～12月）の記載とした。



【2024年度の取り組み実績】

事業名	自殺対策計画推進事業	事業費（2024年度実績額）	192,495 円
<p><取り組み></p> <p>地域自殺対策の推進</p> <p><説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ・逗子市自殺対策計画に基づき、生きることを支える人材の育成、市民への啓発・周知、地域・庁内組織間における連携の強化、生きることの促進要因への支援を推進する。 ・逗子市自殺対策計画は5年に1回の改定を行っていく。 <p><実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・逗子市自殺対策計画推進懇話会：2回開催 ・逗子市自殺対策担当者会議：2回開催 ・ゲートキーパー養成講座開催：2回開催（教職員向け：7/30、17人参加、市民向け：3/15、32人参加） ・自殺対策普及啓発活動（2024年度から講座受講内でボランティアを募り、街頭での啓発活動を実施）3回実施（9/22 1人、10/20 2人、3/22 5人） ・自殺対策講演会：1回開催（9/21、55人参加） 			

【懇話会の意見】

取り組みは幅広く体系だって進められているので、引き続き進められたい。

【自己評価】

地域でのゲートキーパーの育成を継続して実施している。2024年度は、教職員向けのゲートキーパー研修を実施し、近年増加傾向が指摘されている子どもへの対応を強化した。自殺は健康問題、経済・生活問題、人間関係の問題のほか、地域・職場の在り方の変化など様々な要因があると言われており、庁内連携として自殺対策計画推進担当者会議を2023年度に開始。各課の現状を共有し連携促進できている。

【課題の分析と今後のアプローチ】

自殺対策に関する正しい情報を発信して自殺対策計画を推進。また、ゲートキーパーを増やし、庁内関係課とも連携して、生きることの包括的な支援を図ることで、自殺者数0を目指す。